

平成30年度 東部教育局主催ワークショップ

## 児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり ～エキスパート教員から授業づくりのコツを学ぼう～

【ねらい】エキスパート教員から日頃の実践を直接聞くことで、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりのコツを学ぶ機会とする。

平成30年12月26日に開催しました授業改善ワークショップは、15名のエキスパート教員のご協力のもと、47名もの参加者においていただき、充実した会になりました。エキスパート教員の授業への思いや実践、児童生徒との関わり方などについて話を聞いたり、実際に模擬授業や日頃の悩みに対する助言を受けたりと、たいへん有意義な時間となりました。参加者の感想を添えて当日の様子を紹介します。



### <全体発表の様子>

鳥取市立北中学校大広晴美教諭と鳥取市立青谷中学校河本俊顕教諭のお二人に実践発表をしていただきました。先生方の実践からは、生徒の学習への意欲を喚起するための工夫や授業を充実させるには環境づくりも含めた「しかけ」が大切であることなどを教わりました。



- ・「自分が変わらないと授業が変わらない。自分にできそうなことを1つ授業に取り入れるようにする」と言われたことが印象に残った。
- ・お二人の先生の実践から、「授業の準備が大切」ということを学びました。「始まりの挨拶の前から授業は始まっていること」を意識して授業に向かいたい。

### <分科会の様子>

6グループに分かれて分科会を行いました。参加希望者の数に応じて、エキスパート教員1～3名が一つの分科会を担当し、実践等を紹介しました。少人数でグループを編成したため、参加者とエキスパート教員の距離も近く、活発に意見交換ができました。

#### 【分科会A】

小学校算数：佐藤 秀樹 教諭（智頭町立智頭小学校）

小学校道徳：木原 一彰 教諭（鳥取市立世紀小学校）

- ・日頃悩んでいることに対して、明日から実践できそうなことを教えていただいた。また、教師として大切なことも教えていただいた。
- ・めあてを設定する際には、子どもがわくわくして授業に取り組みたくなるものを提示し、子どもが納得することが大切であることを再確認できた。
- ・道徳の授業で、テーマを明確にして授業をすること、子どもの反応を拾い上げることを授業で実践していきたい。



## 【分科会B】

中学校数学：神波 徹 教諭（鳥取市立東中学校）

- ・授業のネタや授業の構成など、改めて参考になった。
- ・一つの教科、一つの分野の中だけで考えるのではなく、他教科や他分野ともつながりをもたせながら授業を実践していきたい。
- ・自分自身がもっと数学を好きになること、もっと根本まで考えようとするのを意識して教材研究をしていきたい。



## 【分科会C】

中学校保健体育：田中 麻子 教諭（鳥取市立南中学校）

小学校特別活動：中澤 達也 教諭（鳥取市立湖山西小学校）

- ・特別活動と体育の授業で、自分の悩みに合った内容に関わるお話やより具体的な指導法を教えてくださいました。
- ・担任の先生方がどのようなことに困っているのか、また、児童に対してどのような支援や指導をされているのか勉強になった。養護教諭として、専門性を生かした授業ができるよう担任の先生と十分に話し合い、事前準備を大切にしようと思った。
- ・生徒への声かけ、導入部分で興味をもたせるための教材研究をもっとしていきたい。視覚的サポートの活用も考えたい。



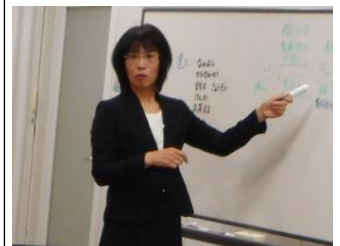
## 【分科会D】

小学校道徳：盛田 里美 教諭（若桜町立若桜学園小学校）

小学校外国語活動・外国語：山根 裕子 教諭（鳥取市立青谷小学校）

中学校英語：渡邊 由美 教諭（鳥取市立南中学校）

- ・エキスパート教員の先生方の技、考え方、熱意を身近で感じることができ、1つでもいいから自分にもできそうなことを実践してみたいと思った。
- ・道徳の学習の流しや評価、外国語活動の単元の作り方など、悩んでいたところがすっきりしたのでよかった。
- ・小中連携の意味でも、外国語を楽しむことの大切さを学ぶことができた。少人数のグループで、とても話しやすかった。



## 【分科会E】

中学校技術：道脇 豊 教諭（鳥取市立湖東中学校）

小学校社会：土橋 和彦 教諭（鳥取市立湖山小学校）

小学校理科：水本 浩二 教諭（鳥取市立久松小学校）

- ・心の面でも技術的な面でも参考になった。自分の授業に生かしていきたい。
- ・中学校技術のプログラミングの学習、資料としての写真の見方、教材研究の楽しさなど、たくさんのことを学ぶことができた。
- ・自分も子どもも面白いと思える教材、授業を行うことで、学力をつけることはもちろんだが、学級として楽しく規律もある生活をさせたいと感じた。



## 【分科会F】

小学校道徳：中川 崇 教諭（鳥取市立面影小学校）

中学校国語：村中ひろみ 教諭（鳥取市立河原中学校）

- ・道徳の授業づくりでは、板書の大切さを感じた。主発問を中心とした構造的な板書を研究していきたいと思った。また、学級経営についてもいろいろなアドバイスをいただいて、自分の学校でどんなものが合うかいろいろ考えてみようと思う。
- ・自分一人では到底考えられなかった考え方、授業の仕方、学級経営のこつを知ることができた。
- ・道徳での構造的な板書、国語での言語活動の充実のための四字熟語やリライト、カルタなどいろいろと取り入れていきたい。



今回いただいたご意見を参考に、来年度のワークショップも充実させていきたいと考えています。東部教育局では、東部地区の先生方の授業力の向上や授業改善につながる機会の提供、情報発信を今後も行っていきます。一緒に、主体的な学びに向けた授業改善に取り組んでいきましょう。

